

計画演習 I

2. 都市の知を形成し、生活者を挿入せよ

担当：城戸崎和佐、大谷弘明、近井務

■課題主旨

都市を都市として成立させている要素のなかで、「知」にかかわる複合空間を創出し、そこに都市生活者のアクティビティをプラスする。21世紀の都市が必要とする「知」が得られる場所をつくり、その「知」を生み出し、また利用しながら暮らし、働き、学ぶ人々の新しいライフスタイルを創造する空間を提案してほしい。

■概要

敷地は阪急六甲駅から六甲登山口までの範囲から、道路の両側を含む任意の区間 50 メートル以上とする。

そこに、音楽、演劇、映像、書籍、アートを鑑賞または購入できる空間をそれぞれ 1 つ以上組み合わせて設計し、また、これらの知的活動を行なうアーティストの創造のためのアトリエとマネジメントを行なうオフィス、および都市生活者の住居を含む、複合施設を考える。建築は 3 階以上とする。一休型でも分棟形式でもかまわない。敷地の高低差をうまく活かした魅力的な外部空間を持ち、歩行空間とのつながりも提案すること。

■計画対象要件

1. 音楽ホール：クラシック音楽など生音主体の音楽ホールとする。客席数 100 程度。2 つ以上設計するときは、客席数、形式が異なるようにする。
2. 演劇ホール：形式自由。客席数 200（一部可変とする）。2 つ以上設計するときは、客席数、形式が異なるようにする。
3. 映画館：客席数 70 程度。2 つ以上設計するときは、客席数が異なるようにする。

4. 本屋：一般書店でも専門書店でもかまわないが、専門書店の場合は 2 つ以上設計する。
5. アートギャラリー：ワークショップもできる空間とする。
6. アトリエ、練習場：音楽、演劇、映像、作家、アートの活動や制作を行なう。各 2 室以上。
7. オフィス：出版、編集、運営を行なう。5 社以上。
8. 住宅：単身者（30 m²程度）、家族用（70 m²程度）、SOHO（50 m²程度）計 30 室以上。
9. その他：物販、飲食などの提案は自由。既存のショップ等を残すことも自由。
10. 延面積は 8,000 m²前後とする。

■最終提出物

タイトルおよびコンセプト（文字数は 200 字程度）、ダイアグラムなど

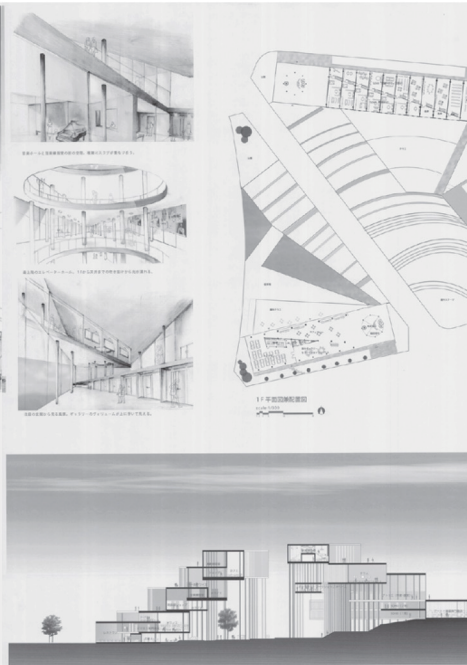
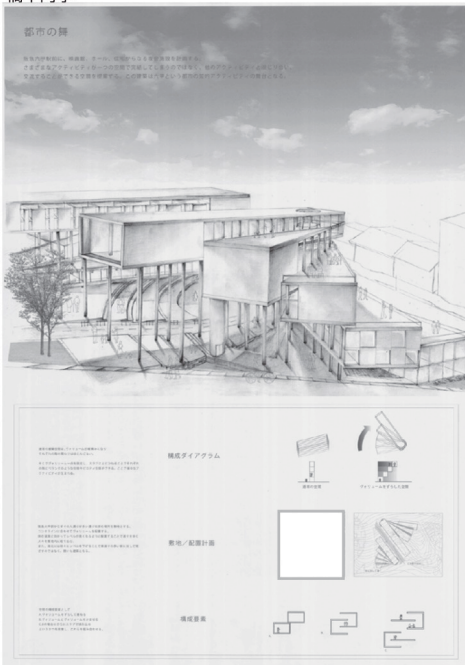
配置図兼 1 階平面図（家具を入れる）	縮尺 1/100
各階平面図（家具を入れる）	縮尺 1/100
長手断面図 2 面	縮尺 1/100
立面図 2 面	縮尺 1/100
矩計詳細図 1 ヶ所	縮尺 1/50
来場者のアクティビティがわかるパース 模型	3 カット以上 縮尺 1/100

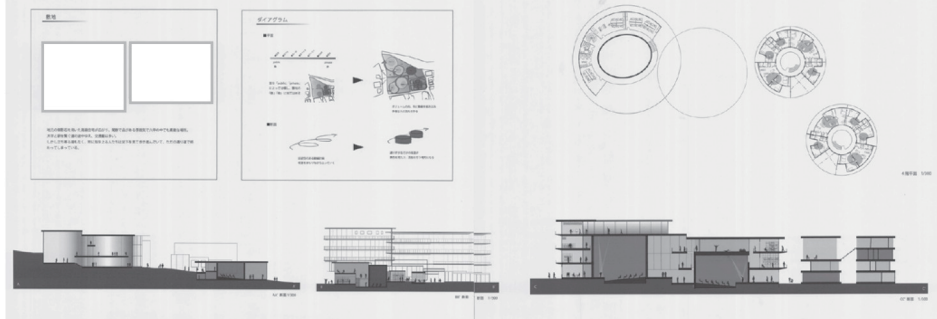
*図面は A1 用紙（枚数自由）に美しくレイアウトする。名前も必ず表にレイアウトして入れる。

*A3 サイズアウトプットの継ぎはぎ仕様は禁止とする。

都市の舞

橋本阿季



[illegible]

Sparsity Site

